



# カウンセリングだより

保育観察エッセイ⑧

## はったつがみえるよ!

～ぶんかのこどもたち～

キンダーカウンセラー  
宮本 祐子

♪幸いにも、私はキンダーカウンセラーとして、子ども達の中に入って一緒に遊ぶことができます。

毎月1回の訪問で、触れ合う時間は限られていますが、頻度が少ない分、子ども達の成長を感じられることが多く、毎回生き生きとたくましく変わっていく姿がとっても楽しみです♪

2 学期の相談日は 9/13(火)、10/11(火)、11/15(火)、12/13(火)です。  
となたでも、お気軽におこし下さい。  
また、2 学期より毎週火曜日を「子育て応援の日」とし、子育て支援室において、未就園児対象の育児相談や各種情報・資料提供をする予定です。  
詳細は後日ご連絡いたします。

真夏のような太陽の輝きとともに、セミの鳴き声も聞かれ、あさがおの花もきれいに咲いています。約3か月前に入園し、初めてのことばかりで戸惑っていた年少さん、進級して新しい学年になり勝手が違ってドキドキしていた年中さん、最高学年としての責任を感じはじめて緊張していた年長さんが、それぞれ夏の訪れとともに園生活にも慣れ、園の一員として元気に活動している姿を見ると頼もしく思います。

先日訪問した年少さんのクラスでは、画用紙を切ってアジサイを作っていました。先生の説明中でも、机に置かれたはさみや色画用紙が気になったり、ごそごそしてしまったりする子どもたちもちらほらいましたが、ほぼみんな周りの様子も見て「今は先生の話を聞かなくて」と集中して耳を傾け、いっしょうけんめい工作に取り組んでいました。

年中さんのクラスでは、お帰りの時間にうっかりお茶を少しこぼしてしまっている場面に遭遇しました。今までだったら困っていてもなかなか先生に伝えられず、伝えることができても、ただ先生にこぼしたとしか言えなかつただろう場面で、その年中さんは自分から先生にこぼれたことを報告して雑巾で拭いて、その雑巾を片付けに行っていました。自然に自分のことは自分でできている様子に成長しているなと感じました。

年長さんのクラスでは、秋の運動会の鼓隊の練習をしていました。子どもたちは慣れない楽器を使いながら、先生の指示で一斉に移動する練習もしていました。わからないことがあるとすぐに泣いてしまいがちだったある年長さんは、不安な表情を浮かべつつも、友だちに確認しながら自分の役割を果たすべく頑張っていました。

いよいよ長い夏休みが始まります。子どもたちにとっては、また家庭での生活が中心になり環境が変わります。ご家庭の皆さんにとっても生活パターンが変わり、ペースをつかむまで大変かもしれません。しかしいつもと違ってゆったりする時間もあると思います。どうしても、日頃子育てをする中で、お子さんの苦手なこと、嫌いなこと、できないことなどに目が行きがちではないでしょうか？もし子どもさんが「これ嫌い」と言ったら『好きなこと、わくわくすることはなあに？』と聞いてあげてください。「お菓子を食べること、虫取り、遊ぶこと、絵を描くこと、ごろごろすること…」など何でもあげてもらいましょう。好きなことを話し出すと、とても明るく元気に目を輝かせて話してくれるでしょう。そして次にもっと好きになるように、もっと得意になるように応援してあげましょう。毎日、大好きなことでわくわくする時間があると、自分に自信がついてくるので、自分が好きになって、自分の心が勇気で満タンになります。そうすると、新しいこと、難しそうに思えることにもチャレンジしてみようという気持ちが湧いてきます。勇気で満たされていないときに、課題を突き付けられても困難を乗り越えるのは難しいのです。**夏休みは「勇気満タン」にする良い機会**になるのではないのでしょうか。子どもさんにとっても、家族の皆さんにとっても思い出深い楽しい夏休みになることを願っております。2 学期にまた一回り大きく成長された子どもたちに出会うことを楽しみにしております。

キンダーカウンセラーとして、園を訪問させていただいております臨床心理士の宮本祐子と申します。普段は大学の付属機関の心理・教育相談センターで、主に就学前～中学生のお子さんについて、保護者の方々に、発達及び諸々の相談をしております。毎月1回、蛭池文化幼稚園にて、保護者のみなさまがお子さんとうまく関わりたいのか～？など子育ての心配や、ご自分について、またお子さんのお友だち同士の関わりや園での生活の心配などの相談にのらせていただいております。費用の方は幼稚園で負担して下さいますので、保護者の方々の負担はありません。また、園児の保護者以外の方も参加可能です。どんな些細なことでも「ちょっと聞いてみたいなあ～」「こんなときどうしたらいいかしら」というときに、お気軽にお越しください。